

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	岸本勝利
	全体計画		平成30年度	～	令和 3年度	経費区分		実施計画事業費	内線			3625
事務事業名	10589 体育施設整備事業											
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
施 策	04022000 スポーツ活動の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100702 教育費・保健体育費・体育施設費										
	事業	020000 体育施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
市民が安全に体育施設を使用できるよう適切に管理する。						体育施設の経年劣化による大規模改修、利用の利便性向上等を進める。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
市民体育館トイレ改修工事 15,958千円	柔道場屋根改修設計委託 1,000千円 柔道場屋根修繕工事 12,000千円 クレイコート改修工事 4,500千円
平成29年度 実績	平成30年度 実績
市民体育館非構造部材耐震化工事設計委託 14,400千円 市民体育館非構造部材耐震化工事 140,600千円	市民体育館非構造部材耐震化工事 78,898千円（前年度繰越分）
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
勤労青少年体育センター耐震補強工事設計委託 7,018千円 臥竜公園庭球場クレイコート改修工事 4,104千円 体育施設トイレ改修工事 1,394千円	体育センター耐震補強工事監理 4,543千円 柔剣道場耐震補強等工事設計 8,701千円 柔剣道場耐震補強等工事監理 5,819千円 体育センター耐震補強等工事 149,721千円 柔剣道場耐震補強等工事 144,045千円

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		12,516	312,829
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	6,300	309,700
	その他	2,000	0
一般財源		4,216	3,129
人員数(人)	正規職員	0.2	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,453.0	2,179.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,453.0	2,179.5
市民一人当たりの経費		0.3	6.0
総額		13,969.0	315,008.5

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	7,018	測量設計委託料
15節 工事請負費	5,498	臥竜公園庭球場クレーコート改修工事4,104、北部体育館トイレ改修工事1,394
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	19,063	勤労青少年体育センター耐震補強工事監理委託4,543、柔剣道場耐震補強工事設計委託8,701、同監理委託5,819
14節 工事請負費	293,766	勤労青少年体育センター耐震補強工事149,721、柔剣道場耐震補強等工事144,045
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	施設に必要な改修等の修繕を実施している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	必要な改修等の修繕により施設の維持が図られている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	大規模な改修等は特殊財源の活用を図っているが軽微な修繕等は市単独事業となる場合が多い	

振り返り（決算年度の取組み課題）

避難所となっている施設の耐震化や経年劣化した施設の大規模改修など、引き続き施設整備を進める必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
計画的に施設の改修等を実施し、安心して使用できるように施設の充実に努めていきたい		<ul style="list-style-type: none"> ・財源を確保し、利用者が安全かつ快適に使用できるよう整備を進める。 ・災害の影響を受けず、多目的に活用できる施設の設置を目指す。 	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	